

2026年 矢向あけぼの保育園だより

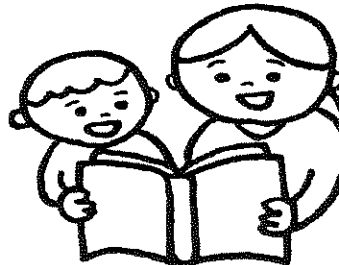


新年度がスタートしました。新入・進級園児ともに新しい生活に少しずつ慣れてきて、子どもたちの泣き声がおしゃべりやはしゃぐ声にかわってきました。幼児クラスは、春の遠足も終わりこれからの活動も楽しみながら園生活を過ごして行って欲しいと思います。

保育説明会開催いたしました。

先日、保育説明会に参加していただきありがとうございました。参加できなかったご家庭にも、今回の資料をお配りします。今年度の保育園で力を入れていきたい保育内容になっております。資料だけだとわからない事や疑問などありましたら、園長までお伝えください。

昨年度から、この保育説明会に絵本のお話もさせていただいております。子どもたちの生活に、絵本がある事でより豊かな経験の幅を広げてくれます。知的な好奇心だけでなく、大人とのコミュニケーションのツールとしても良い保育教材だなと思っています。月刊絵本の年中向きの6月号に『ターニャちゃんのスカート』が復刻されると聞いて嬉しく思いました。この絵本は、2012年の月刊誌でした。絵本の内容が、自分の幼少期に長い髪に憧れた事を思いだしたり、子どもが「いいこと思いついた！これって素敵」となった時の目が、そのまま絵本の絵で表現されていて私が大好きな絵本になっていました。子どもたちも、おままごとのスカートを、髪の毛にみたくて遊んだ経験や三輪車に乗れるようになったり、自分に自信がついてきた気持ちとリンクしたのか、子どもたちも大好きな絵本になりました。各学年で、子どもたちの感じ方が違ったのも印象的でした。2歳児クラスでは、ごっこ遊びが真っ盛りな時期でしたので自分たちを体現した内容でしたし、年長さんにとっては「そうだった。自分もちょっと小さい時はこんな感じだった」と懐かしみながら楽しんでいました。



▶ 昨年度の年長さんは、『ざりがにのおおさま まっかちゃん』という絵本との出会いがザリガニ釣りに挑戦するきっかけになり、釣ってきたザリガニを一生懸命お世話して生き物の命とも向き合いました。絵本は時として、物語の世界から飛び出して、子どもたちの新たな経験の場を広げてくれます。大人も同様で、子どもに読んであげていた本から知る事も多く一緒に楽しめます。矢向あけぼの保育園では、4・5歳児は全員月刊購読していただいておりますが、こどものともさんの購読コースは色々ありますので、この機会に、毎月届く絵本の購読をお薦めしたいとおもいます。お申し込みは事務所で受け付けておりますので、ご興味のある方は、ぜひお声かけしてください。

【福音館の月刊絵本のコースご紹介】

- ・こどものとも0・1・2
 - ・こどものとも年少版
 - ・こどものとも年中向き
 - ・こどものとも
- 全て新刊です。
毎月様々なバリエーションの絵本が届きます。

園長 飯田雅美